

第142回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成20年9月11日(木) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 8人  
出席委員数 7人

出席委員の氏名 森内 律子  
青木 敬信  
片岡 真理  
古磯 勝子  
島田 恭子  
須賀 英之  
早川 富美子

欠席委員の氏名 片山 貴之

放送事業者側出席者 高松 征雄 代表取締役社長  
原田 宏 取締役放送部長  
佐藤 望 放送部長代理  
佐藤 由紀子 放送部

4 議題 番組の試聴及び意見交換

5 議題の概要 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) ベリテンライブについて  
(3) その他  
(4) 次回(10月)の開催日程について

6 議事の内容

(1) 番組の試聴及び意見交換

8月17日(日)19:00から20:55に公開生放送した特別番組「うつのみや花火大会スペシャル『夢』花火」の試聴と意見交換を行った。

事業者側：うつのみや花火大会は昨年復活して2年目の開催。地元の若手の有志が企画しスポンサーを募って実施したもので、弊社にも何らかの形で協力して欲しいとの話があり、初めての実況生放送に挑戦した。会場の桟敷席では花火と音楽を楽しんでもらい、ラジオを聞いている人には打ち上げの音と花火にまつわる音楽で実際の花火をイメージーションしてもらおう、というのが番組のコンセプトだった。  
DJは佐藤望アナウンサーと井出文恵アナウンサーが担当した。

委員：珍しい初めての試みということで、色々と難しかったのではないかな？

事業者側：どんな風に花火の音を録れるのかわかりませんが、出来なかったため放送するのに必死だったが、放送後は「車の中で楽しませてもらった」など好意的な反応もあった。当日は雨模様だったため、カーラジオを聞きながら花火を楽しんだカップルも多かったようだ。

委員 : このようなラジオによる花火中継は他の放送局でもやっているのか？

事業者側 : エフエム群馬でやっている。ただ、会場向けの番組で、花火を提供するスポンサーを紹介するなどリスナー向けの放送ではないかもしれない。

委員 : 今回は、花火大会の会場でも生放送でかけた音楽が流れたのですよね。  
栈敷席で聞くと音量はどのくらいでしたか？

事業者側 : かなり大きな音で、放送ではエコーがかかっていた。

委員 : 会場でも音楽を流すというのは、実行委員会からの提案だったのか？

事業者側 : いいえ。話し合っただけです。  
今回は、事業的なことと花火の打ち上げを実行委員会が、音楽の選曲を弊社が担当し、共同製作となった。

委員 : 得意分野を生かしてイベントに協力しているというのは良い。  
色々な展開が考えられ夢が広がっていくし、社会貢献活動にもつながるだろう。

委員 : 打ち上げのカウントダウン後は、音楽ではなく花火の「ドーン！」という音が聞きたかった。  
最初の一発目は、花火 音楽、という構成の方が良かったのではないか。

ラジオで花火そのものを表現するのはなかなか難しいと思う。せいぜい、「きれい」とか「すごい」という表現になってしまう。花火について詳しい“花火研究家”や“花火コメンテーター”のような人をゲスト解説者に加えると、もう少し深みのある中継が出来たのではないか。

事業者側 : 実は、花火師さんに解説を依頼していたのだが、いざ花火大会が始まると忙しく出演が出来なかった。

委員 : 確かに、どういう花火なのか表現が足りなかった。  
足利工業大学に花火研究室があるのをご存知だろうか？前の学長さんが花火研究の権威でお弟子さんには解説者にふさわしい人がいるかもしれない。

委員 : 子どもの絵を花火で表現して打ち上げる、という企画があったが、どういう花火なのか放送ではイメージが出来なかった。色がピンクだったというのが辛うじて分かった程度で絵を描いた女の子とのインタビューもチグハグだった。  
花火が上がった時の驚きも特になく、どうなったのか状況がよく分からなかった。

委員 : 「車の中でラジオを聞きながら花火を見ている」というリスナーのメッセージが紹介されていたが、これは花火見物の一つのスタイルになるのではないか。

事業者側 : アメリカのドライブシアターみたいなスタイルですね。

委員 : 今回そういうスペースは用意していたのか？

事業者側：いいえ。来年も弊社が協力することになれば実行委員会に提案してみたい。

委員：DJのお二人も初めての実況生放送で苦労されたのでは？

事業者側：はい。私(佐藤)は北京オリンピック開会式のビデオを見て表現方法を勉強し、井出アナウンサーにも表現方法について事前に準備をしてもらった。しかし、生放送は思った通りにはいかなかった。

委員：井出さんの子供とのやりとりは雰囲気良かった。

委員：大変なことも多いだろうが、番組の内容を少しずつボリュームアップし、様々な所へ発信できるように続けていって欲しい。

委員：社会貢献活動ということも考え、発展していくことを期待したい。

(2) ベリテンライブについて

3日後に迫った弊社主催のベリテンライブについて準備状況などを報告した。

(3) その他

特になし

(4) 次回(10月)の開催日程について

次回の開催を10月9日(木)にすることについて、全員の了解を得た。

7 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

8 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

a) 放送：9月28日(日)午後9時55分の「レディオベリー インフォメーション」内。

b) 書面：本社事務所に備え置き。

c) インターネット：エフエム栃木ホームページ内。

9 その他の参考事項

なし